

よきサマリヤ人の譬えー愛の実践

ルカの福音書10章25-37節
2012、4、15 HKJCF

I 概観

序)①弟子への祝福(福音)②律法学者の
偏見③天国の資格と人間の働き(律法)

1、律法学者とイエス様	25-29
2、よきサマリヤ人の譬え	30-35
3、愛の実践とイエス様	36-37

II 律法学者とイエス様

- 1、イエスを試そうとする(傲慢・自己中心)
 - 2、知識はあるが実践(適用)に欠ける
 - 3、聖書による自己の正当化(自己義認)
⇒律法の目的(申命記6:5、レビ記19:18)
- ①善悪の基準 ガラテヤ 6:4
- ②イエス様への導き 3:24
- ③主の愛に基づく信仰 5:6
(信仰はキリストの愛から、口語・新改訳)

III よきサマリヤ人の譬え

- 1、宗教家たちの行動
①祭儀の重視②教条主義③律法の読み
違い⇒反対側を通して:無関係・モノ?
- 2、サマリヤ人の愛(豊かな人間性)
- 3、律法学者の不満
①偏見②神と人への愛の未統合
⇒神と人への愛の統合・愛の実践・律法
の本質(神様のみ心)が最重要、最優先

IV 愛の実践とイエス様

- 1、良きサマリヤ人の愛
①同じ側②心を込めた介抱③代金の支払
- 2、最高に良いサマリヤ人としての主
- 3、良きサマリヤ人としてのキリスト者
①受ける②与える③受ける のサイクル
⇒強盗に襲われた人とはだれか?
⇒よきサマリヤ人は?
⇒最高によいサマリヤ人は?(愛⇔み言)

V 適用

- 1、あなたはどこからスタートしますか?
①パリサイ人②強盗に襲われた人③良き
サマリヤ人
- 2、私たちは①ー③の信仰のサイクルを
繰り返します。そして、イエス様が最高に
「よきサマリヤ人」であることを体験します
- 3、この信仰のサイクルの中に入りましょう
あなたにとって強盗に襲われた人とは誰
ですか?